

(第3種郵便物認可)

サイ・テク 知と技の発信 こらむ

[379]

埼玉大学・理工学研究の現場

埼玉大学工学部では、毎年秋口 ンありますが、中学生、高校生とに主に埼玉県内の高校生を対象と 学年が上がるに従ってイベント内した「サイエンススクール」を実 容の濃さが充実する一方、イベン
施しています。小学生向けの工作 トそのものは減っていく、理工系
教室や理科教室は世の中にくさ 関連の現象を体験的に学ぶ機会が



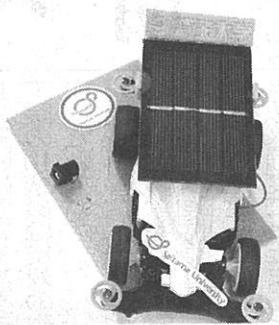
はせがわ・ゆき 2001年埼玉大学大学院教育学研究科(技術専修)修了。博士(工学)。埼玉大学情報システム工学科、電気電子システム工学科助手を経て、16年より現職。専門は、植物生体電位を用いた環境センサの開発及び、化学センサを用いた味覚、嗅覚センサの開発。

高校生向けに科学教室

工学部電気電子科 長谷川有貴准教授

ほとんどないのが現状です。そのことを身をもって感じている高校生の皆さんもたくさんいると思います。

■ハイブリッドミニカー製作
工学部で企画しているサイエンススクールは、そのような機会を工学に興味のある高校生の皆さんに提供することを目的としたもの



埼玉大「でんでん」特製ハイブリッドミニカー

で、私は電気電子物理工学科(通称「でんでん」)の教員として、太陽光発電と非接触給電から電池の代わりにコンデンサに充電可能な「ハイブリッドミニカー」の製作教室を実施しています。

街中では、いろいろな電気自動車(普通義形式で学んでもいい、さらに未来の電気自動車に思いを馳せつつ、せいたくに2種類の充電方式を搭載した埼玉大「でんでん」特製「ハイブリッドミニ四駆」を自ら作製し、光あるいは非接触で充電したときの充電速度、走行性能の違いなどを実感してもらっています。受講した皆さんからは毎年、電気に関する体験イベントは受けたくてもほとんどないので「受講できてよかった」「ハイブリッドカーが勢いよく走ったときには気持ちよかったです」など、電気自動車制作がよかった。この教室では、日本あるいは世界の電気とエネルギーの現状を講

■未来の電気自動車に思い
この教室では、日本あるいは世界の電気とエネルギーの現状を講
いに期待しています。